

フェロスルト搬入に抗議

共産 萩原氏「監査請求辞さず」

化学メーカー石原産業（大阪市西区）が二十一日から、産業廃棄物「フェロスルト」を県環境保全事業団が管理する新小山最終処

分場（四日市市小山町）へ搬入するとの報道を受け、元県議の萩原量吉・日本共産党県委員会副委員長は二十日、鈴木英敬知事宛てに

「答する方針。」



会見する萩原氏＝県庁で

抗議を申し入れた。県庁で記者会見した萩原氏は「強行するなら住民監査請求も辞さない」との姿勢を示した。

申し入れでは、新小山処分場に国、県が多額の補助金を出しているとし、「石原産業一社のために多額の国費、県費をかける、こんなムダ遣いと石原産業奉仕をやめることを強く求める」としている。

また、平成二十二年三月の県議会生活文化環境森林常任委員会で、県当局が「新小山処分場の埋め立て計画の中にはフェロスルトは入っていない」と答弁しているのを持ち出し、経過報告を求めた。

県は六月中にも文書で回